



IIxil 電動ドアクローザ 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

電気工事は、電気工事士法に基づき有資格者が行ってください。

⚠ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠ 注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠ 警告



●火災・感電・故障のおそれがありますので、下記事項をお守りください。



- ・開口部から内部に金属類を差込んだり、落したりしないでください。
- ・機器を改造しないでください。
- ・電源コードをキズ付けたりしないでください。
- ・電源を入れた状態で配線・取付け・結線をしないでください。
- ・使用中に煙が出る、異臭がするなどの異常が発生した場合は速やかに使用を止めてください。
- ・万が一、電源プラグ、アダプター、電動ドアクローザに水かかりがあった場合は使用を止めてください。
- ・軒や庇を十分確保し、扉に直接雨水がかからない場所に設置してください。

⚠ 注意



●取付けねじを取付ける際、配線ボックス内の線をキズ付けないように注意してください。火災や破損のおそれがあります。

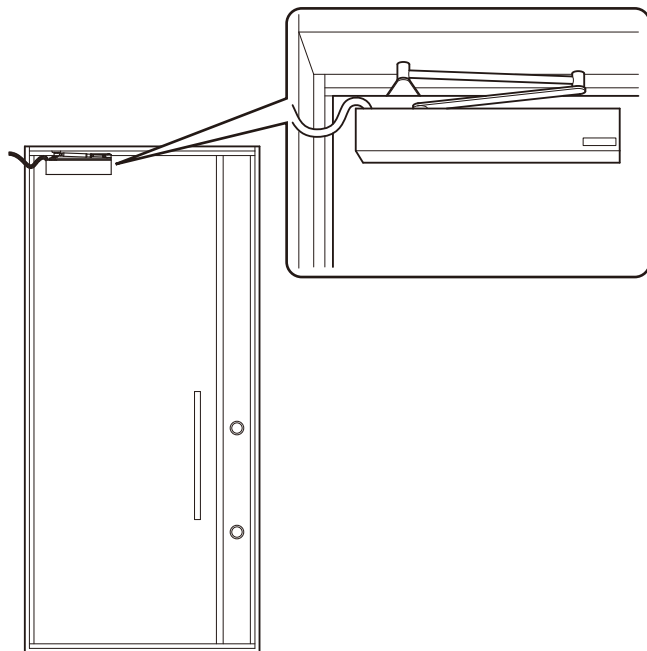


●AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程により、絶縁セパレータなど堅ろうな隔壁を取付けて絶縁してください。火災・感電のおそれがあります。



●ドアクローザの落下・故障のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・各種取付けねじは、 $3.0\text{N}\cdot\text{m}$ {30kgf·cm}以上のトルクまたは指定のトルクで締付けてください。
- ・固着剤付きのねじは、2度締めしたり、水に触れたものは使用しないでください。
- 施工中、扉を 100° 以上開かないでください。また施工後はドアストッパーを取付け、 100° 以上開かないようにしてください。枠やクローザの破損の原因となります。



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	通電金具や配線は、正しい枠側に取付けているか。	☐
2	ケーブルの断線なく、コネクタがしっかり差さっているか。	☐
3	開閉速度は5秒以上(5～8秒)に設定したか。	☐
4	作動確認して、動きに問題はなかったか。	☐
5	ドアストッパーを取付けたか。 (施工中は逆折れ防止材設置のこと)	☐

取付け上のお願ひ

- 電源を入れる前に誤配線などがないことを確認してください。誤配線のまま電源を入れると、故障の原因となります。
- 機器に液体(水・ジュース・薬品など)をかけたり、揺らさないようにしてください。故障の原因となります。
- 躯体内を通す配線があります。室内壁が仕上がる前に作業を実施してください。

■取付け手順

手順項目に数字の書いてあるものは、限られた仕様のみの手順になります。

該当する仕様をご確認の上、必要な項目を参照してください。

例：

■クローザ配線の接続(※①)→FamiLock配線露出仕様のみ適用

サッシ工事区分

①事前確認

- 取付け部品一覧 → (P.2)
- 梱包内容 → (P.3)
- 各部の名称 → (P.4)
- 施工前準備 → (P.5)

②電動ドアクローザの取付け

- ブラケットの取付け → (P.6)
- クローザ本体の取付け → (P.7)
- アームの逆折れ防止材取付け → (P.12)

電気工事区分

③配線の取付け

- 推奨納まり(※①、※②) → (P.8)
- 配線ボックスの設置、取付け(※①) → (P.9)
- 配線の引き出し、接続 → (P.10)
- クローザ配線の接続(※①) → (P.11)
- クローザ配線の接続(※②、※③) → (P.12)
- コンセントの接続(※①、※②) → (P.13)

サッシ工事区分

④作動確認

- 電源投入 → (P.14)
- 全開位置&開閉速度の調整 → (P.15)
- カバーの取付け → (P.16)
- 仮設ドアストッパーの設置 → (P.16)
- ドアストッパーの設置 → (P.17)

その他備考

- こまったときには → (P.18・19)
- ドア開き角度確認シート → (P.20)
- 商品仕様 → (P.20)

※①FamiLock配線露出

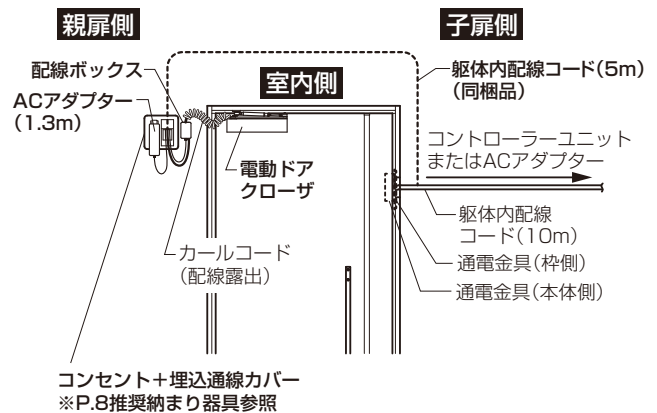
※②FamiLock配線内蔵

※③顔認証システム

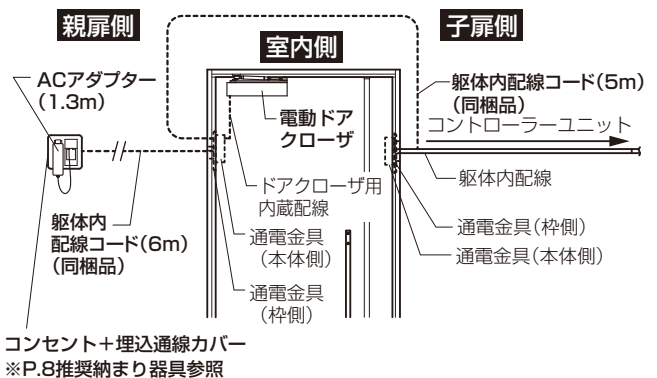
①事前確認

■取付け部品一覧

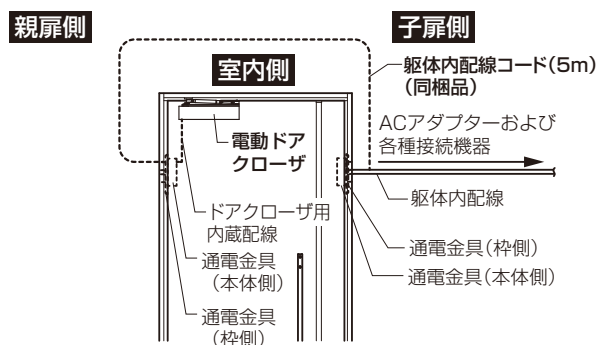
①FamiLock配線露出



②FamiLock配線内蔵



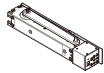
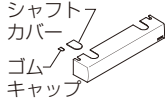
③顔認証システム(配線内蔵)



I 事前確認(つづき)

■ 梱包内容

・本製品は、接続先の電気錠によって梱包内容が異なります。取付け前に内容物がすべてそろっているか確認してください。

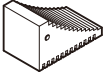
部品	FamiLock 配線露出	FamiLock 配線内蔵	顔認証 システム
	個数		
 クローザ本体	1	1	1
 シャフトカバー ゴムキャップ 本体カバー ※シャフトカバーとゴムキャップは本体カバーに取付け済み	1	1※1	1※1
 リンクブラケット	1	1	1
 ACアダプター(ケーブル1.3m)	1	1	—
 L型プラグ	1	1	—
 延長ケーブル(0.6m)	1	1	—
 ホルダー ※取付けねじ4本同梱	1	1	—
 M5用スパナ	1	1	1
 配線穴隠し用パッキン	—	1	1
 ケーブル	1	—	—
 躯体内配線コード(5m)	1	—	—
 躯体内配線コード(配線内蔵用5m)	—	1	—
 躯体内配線コード (通電金具-ACアダプター6m)	—	1	—
 躯体内配線コード(顔認証用5m)	—	—	1

部品	FamiLock 配線露出	FamiLock 配線内蔵	顔認証 システム
	個数		
 配線BOX ※内部に取付けねじ2本同梱	1	—	—
 取付け説明書(本紙)	1	1	1
 取扱い説明書	1	1	1
 M5×10アプセットボルト(平座金付)	1	1	1
 M5×16丸皿小ねじ(固着剤付)	4	4	4
 M5×12丸皿小ねじ	4	4	4
 逆折れ防止材	1	1	1

■ 別梱包品

部品
 ドアストッパー

■ 現地手配品

部品	
 コンセント※2 ※形状は現地の状況に合わせて決定してください。	 仮設ドアストッパー ※ドアストッパーが取付くまで使用

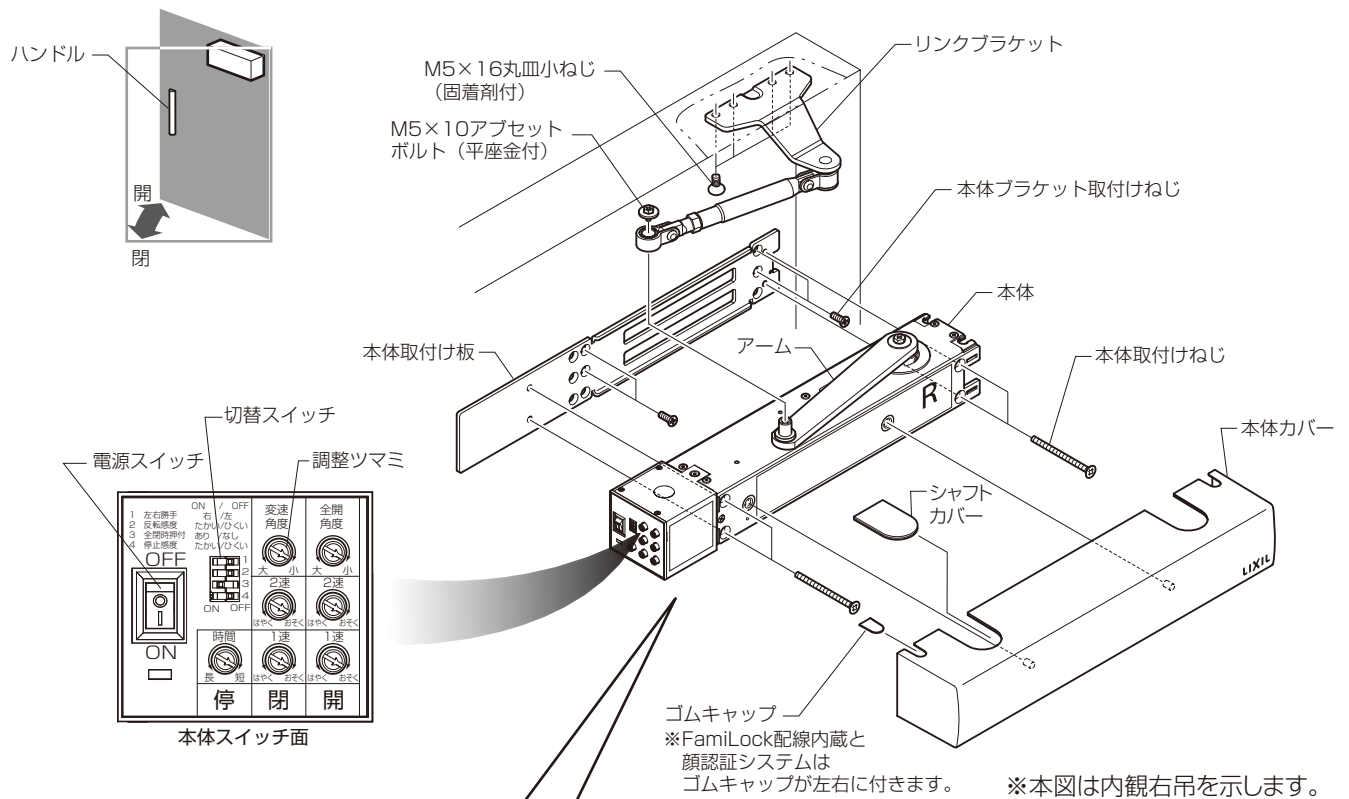
※1 FamiLock配線内蔵および顔認証システムはゴムキャップが2つ取付きます。

※2 接続部の詳細は顔認証システム取付け説明書をご確認ください。

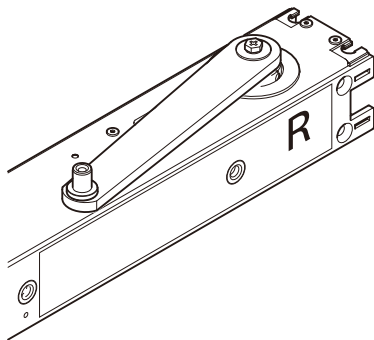
I 事前確認(つづき)

■各部の名称

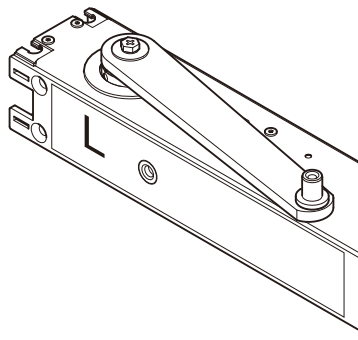
※本商品は左右開き兼用です。



●吊元の違いと本体の表示 内観右吊の場合



内観左吊の場合



I 事前確認(つづき)

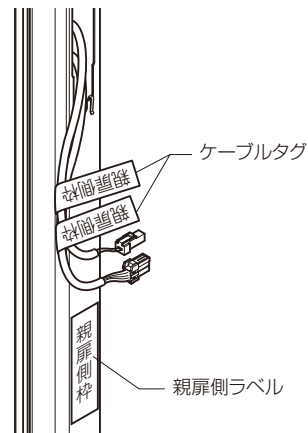
■ 施工前準備

施工前の確認事項

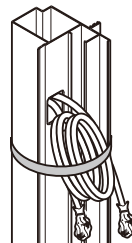
- 親扉側に通電金具がある場合、ケーブルのタグと親扉側枠に貼られたラベルが一致していることを確認してください。

配線確認のお願い

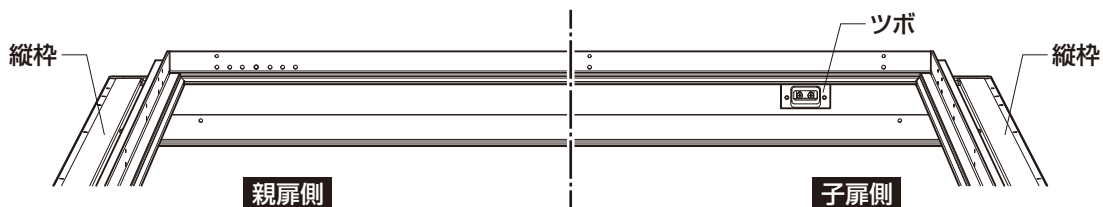
躯体内配線を間違えた枠に配置した場合交換が困難になります。
必ず確認してください。



- 躯体内配線コードを通した後、コネクタ保護のため、テープを巻いてください。
コネクタがつぶれていないか、テープが外れていないか確認してください。



- 施工開始前に通電金具とケーブルの位置が合っているか確認を行ってください。
下図のように縦枠に対してツボが近い方が子扉側、反対側が親扉側となっております。

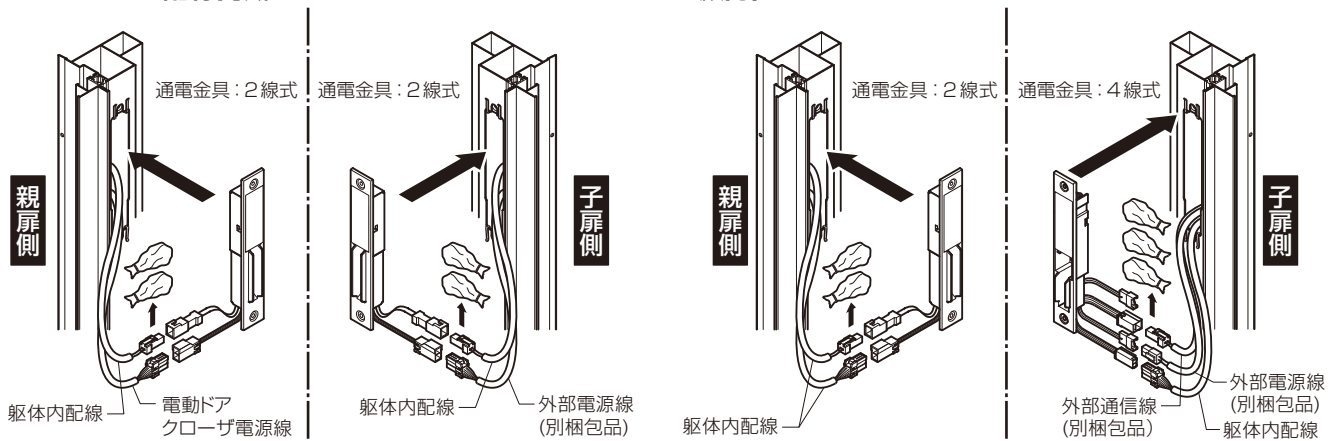


- 通電金具とケーブルセットは以下の通りです。各仕様によって種類が異なりますので、下図を参照し確認してください。
(FamiLock配線露出は通電金具が子扉側にしかありません。)

※ケーブルの全体配置は取付け部品一覧を参照してください。→(P.2)

FamiLock 配線内蔵

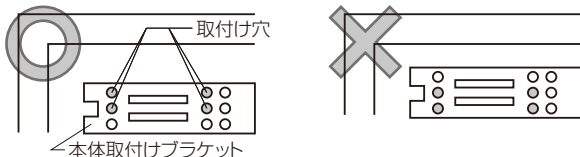
顔認証システム



2 電動ドアクローザの取付け ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

電動ドアクローザ取付け上のお願ひ

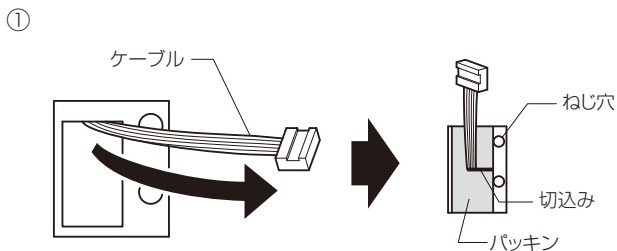
- ブラケットを取外したねじは再度使用しますので紛失しないよう保管してください。
- パッキンを貼る際、ケーブルをパッキンの溝にしっかりと挟んでください。
(FamiLock配線内蔵、顔認証システムの場合)
- 本体取付けブラケットを取付け時は必ず、上側4つの取付け穴を使い、ねじで取付けてください。



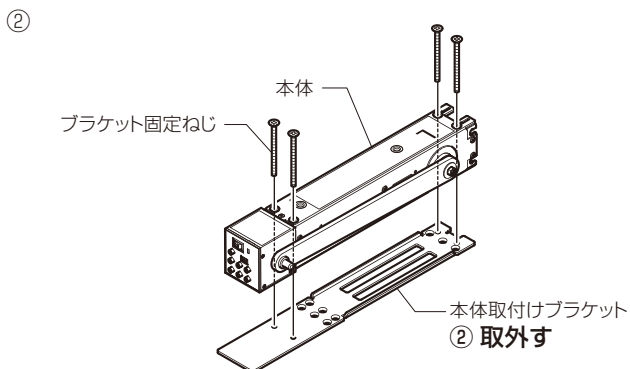
※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

■パッキンの取付け

- ① ドア本体の配線穴からケーブルを取り出します。その後パッキンを貼ってください。
(FamiLock配線内蔵、顔認証システムの場合のみ)
- ② クローザ本体からブラケット固定ねじを取外して本体取付けブラケットを取外します。

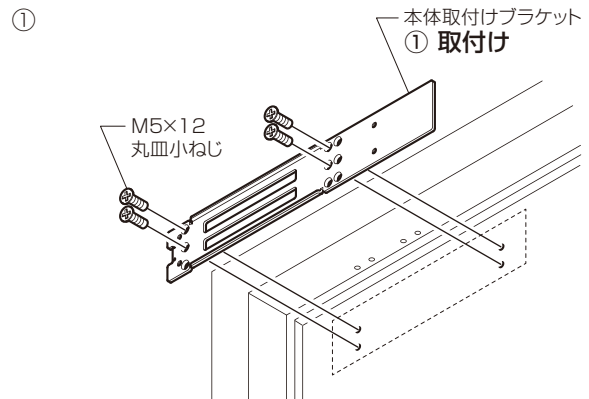


※パッキンの切込みをねじ穴に向けて取付けてください。
※パッキンはねじ穴に被らないように貼り付けてください。



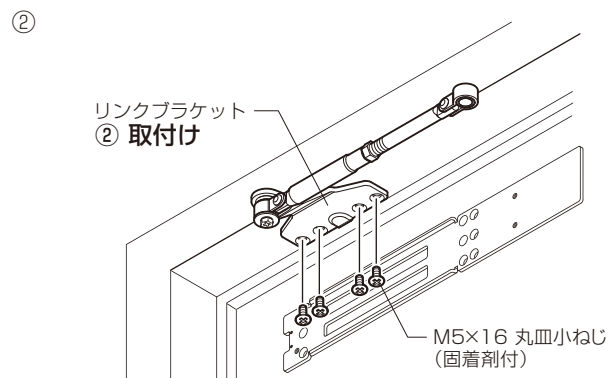
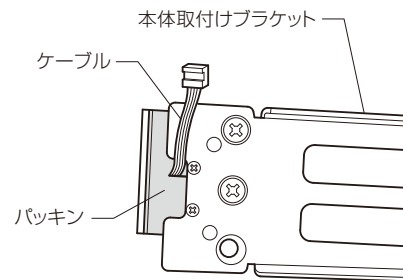
■ブラケットの取付け

- ① 本体取付けブラケットを玄関ドアにM5×12丸皿小ねじで取付けます。
- ② リンクブラケットをドア枠にM5×16丸皿小ねじ(固着剤付)で取付けます。



配線内蔵および顔認証仕様の場合

- 配線穴から出た配線を挟まないよう注意して、本体取付けブラケットを取付けてください。

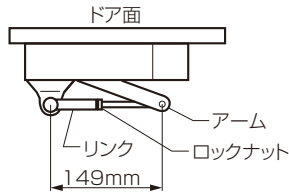


2 電動ドアクローザの取付け(つづき)

■クローザ本体の取付け

クローザ本体の取付け上のお願ひ

- 標準寸法になるようにリンクの長さを調整してください。リンクのロックナットを緩めてから、リンクの長さを調整してください。(標準寸法は149mmです)



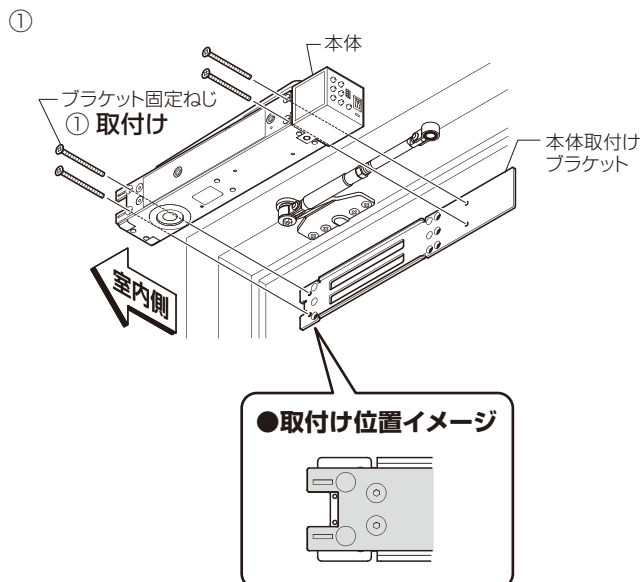
※リンクの長さが適切でないと電源を入れた際エラー停止します。

使用工具

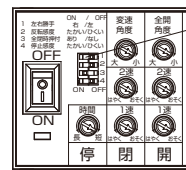
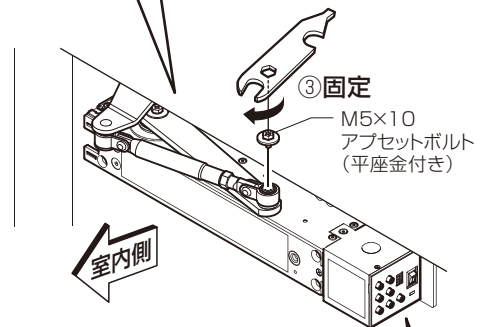
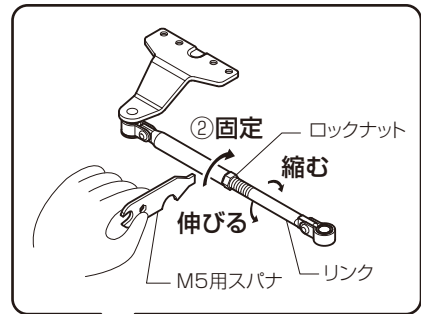


※この章ではM5用スパナ(付属)を使用します。

- ①クローザ本体を本体取付けブラケットにブラケットを取外した際の固定ボルトを使用して取付けます。
- ②リンクのロックナットをスパナで締め付けてリンクの長さを固定します。
- ③本体側のアームとリンクをM5×10アプセットボルト(平座金付き)で固定します。
- ④本体側面にある本体スイッチ面の切替スイッチ「No.1」を扉が開く方向に合うように切り替えます。



② ③ ④



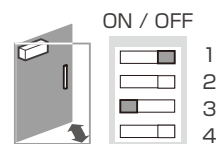
本体スイッチ面

④ 切替え

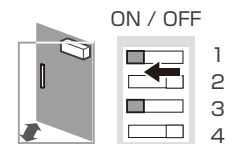
先端で切替スイッチのON / OFFを切り替えてください。

M5用スパナ(付属)

▼ 内観左吊(出荷時)の場合 ▼



▼ 内観右吊の場合 ▼



No	機能	ON	OFF
1	左右勝手	右	左
2	反転感度	高い	低い
3	全閉時押付	あり	なし
4	停止感度	高い	低い

No.3の切替スイッチは動かさないでください。

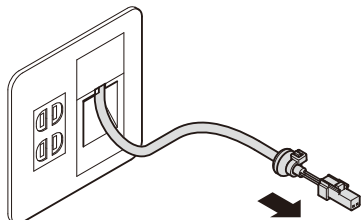
3 配線の取付け

■推奨納まり

納まり上のお願ひ

※FamiLock配線露出、配線内蔵の場合のみ

- 躯体内を通す配線があります。室内壁が仕上がる前に作業を実施してください。



推奨納まり器具(別売品)

- ・埋込扉付ダブルコンセント[WTF135239W]
- ・埋込通線カバー(取付枠付)[WT9171W]
- ・スイッチ+コンセントプレート[WTC7112W]
- ・スイッチボックス標準型 2コ用 セパレータ付 [DM80202]

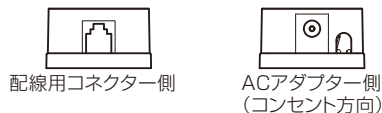
※大穴テレホンガイドを用いても可(その他器具は別途選定)

配線ボックス取付け上のお願ひ

※配線ボックスを使用するのはFamiLock配線露出のみ

- コンセントの位置に合わせて配線ボックスの向きを変更してください。

配線ボックス上面・下面



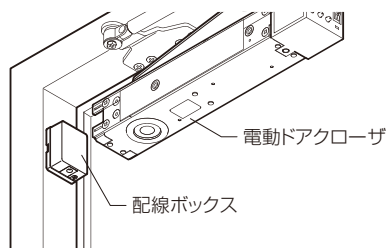
※配線ボックスは、本体の高さに合わせて設置してください。

※配線ボックス端部と本体コネクタ間が直線距離で20cm以内になるよう設置してください。

(20cmの紐が届く距離)

設置が難しい場合は額縁見込み面への取付けも可です。

その際、開閉時に干渉がない事を確認し取付けてください。

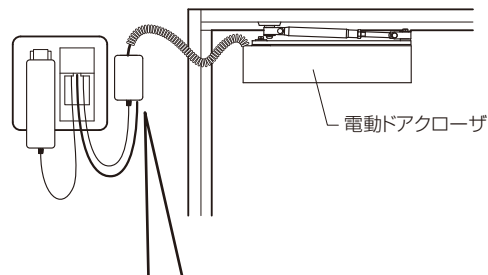


- 配線ボックスの固定は、必ず柱または下地を入れて取付けてください。

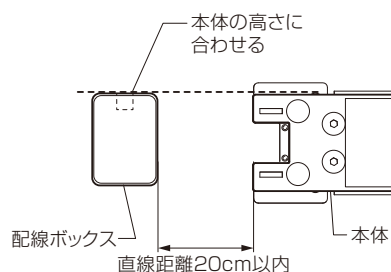
※アルミ室内額縁を採用している場合は、両面テープで取付けてください。

●配線ボックスの取付け例

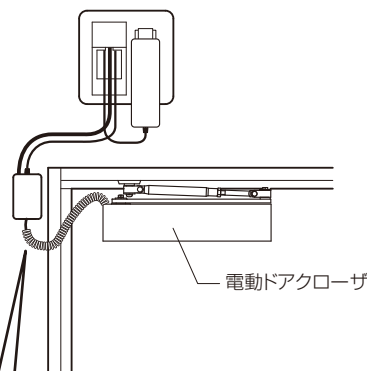
▼ 例1：吊元横側に取付ける場合 ▼



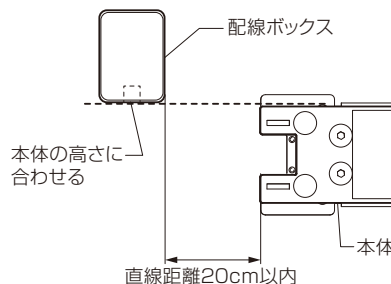
配線用コネクタが上側



▼ 例2：上側に取付ける場合 ▼



配線用コネクタが下側



3 配線の取付け(つづき) ※FamiLock配線露出のみ

■配線ボックスの設置、取付け

⚠ 警 告



●電源を入れた状態で配線・取付け・結線をしないでください。感電や故障のおそれがあります。

⚠ 注 意



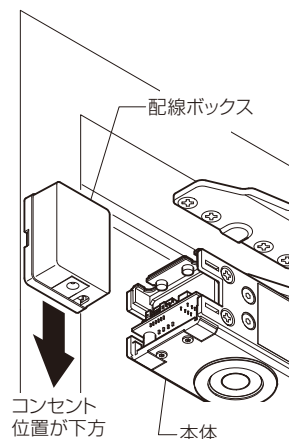
●取付けねじを取付ける際、配線ボックス内の線をキズ付けないように注意してください。火災や破損のおそれがあります。

取付け上のお願ひ

- 本体の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
- 前項の推奨納まりを参考に設置位置を決めてください。
- 電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながる原因になります。

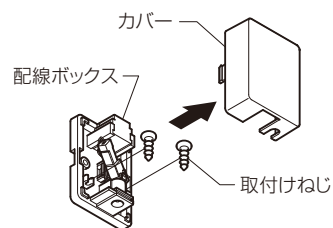
- ① 本体の高さに合わせて、配線ボックスを設置します。
- ② 配線ボックスのカバーを開き、配線ボックス内部の取付けねじを2本取り出します。
- ③ 両面テープを剥がし、設置した位置で仮止めした後、取付けねじ2本で固定します。

①

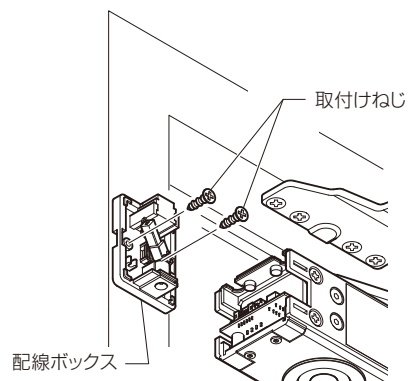


※図はコンセントが下方にある場合を表しています。

②



③



3 配線の取付け(つづき) ※FamiLock配線露出のみ

■配線の引き出し、接続

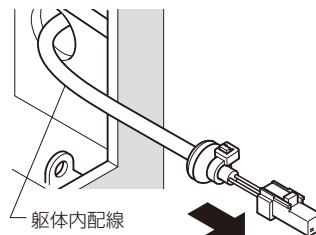
▲注 意



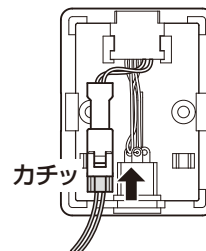
●AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程により、絶縁セパレータなど堅ろうな隔壁を取付けて絶縁してください。火災・感電のおそれがあります。

- ① 躯体内配線を参考に枠側の通線カバーより引き出します。
- ② 引き出した躯体内配線と配線ボックスのコンネクターを接続します。
- ③ 配線ボックスにカバーを取付けます。その際ACアダプター側コードのゴムカバーをはめ込んでください。

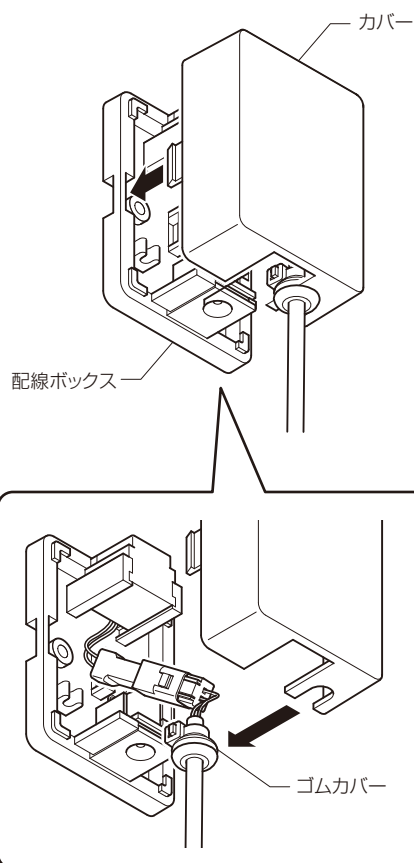
①



②



③



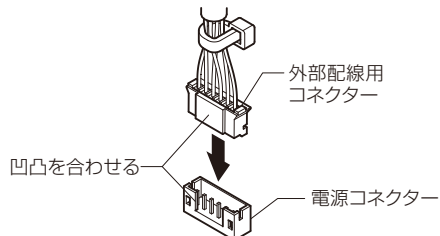
※ACアダプター側コードのゴムカバーを配線ボックスカバーにはめ込んでください。

3 配線の取付け(つづき) ※FamiLock配線露出のみ

■クローザ配線の接続

クローザ配線の接続上のごお願い

- コネクターの向きを確認して接続してください。



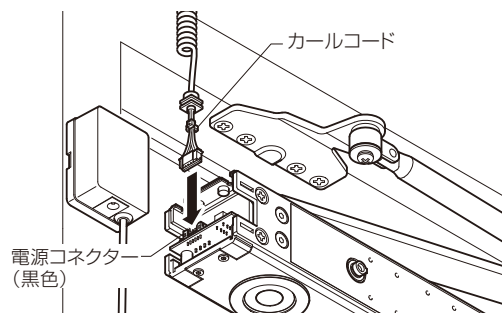
※ 枠に手が当たって作業がしづらい場合は、ドアを開けると作業が容易になります。



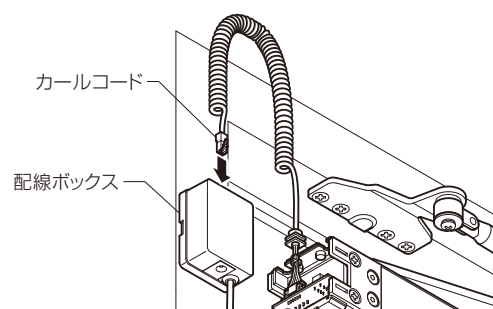
- カールコードを無理に引っ張らないでください。伸びてしまう原因になります。
- 施工中、配線を取付けない期間がある場合、コネクタへホコリが入らないように養生してください。

- ①カールコードをクローザ本体側の電源コネクタに接続してください。
- ②カールコードを配線ボックスに接続してください。
- ③コードの抜け止め部品を本体側の切欠きに引っかけてください。
- ④ACアダプターを配線ボックスに接続します。

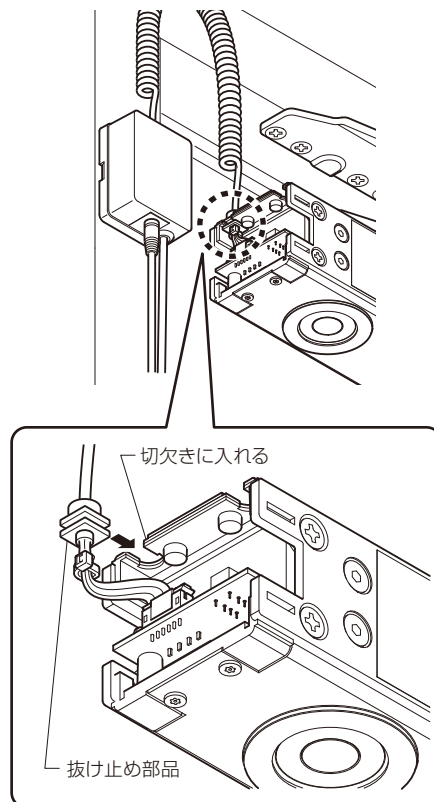
①



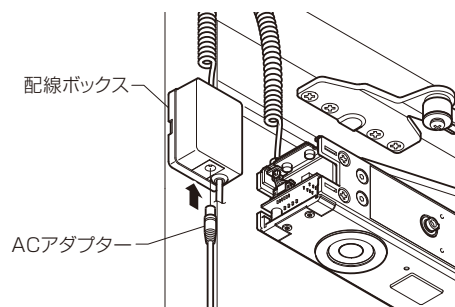
②



③



④

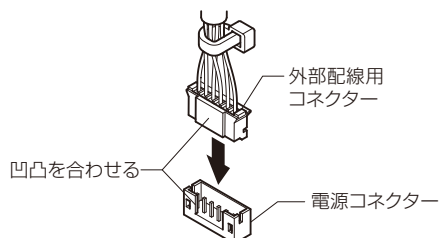


3 配線の取付け(つづき)

■クローザ配線の接続 (※FamiLock配線内蔵、顔認証システムのみ)

クローザ配線の接続上のお願ひ

- コネクターの向きを確認して接続してください。

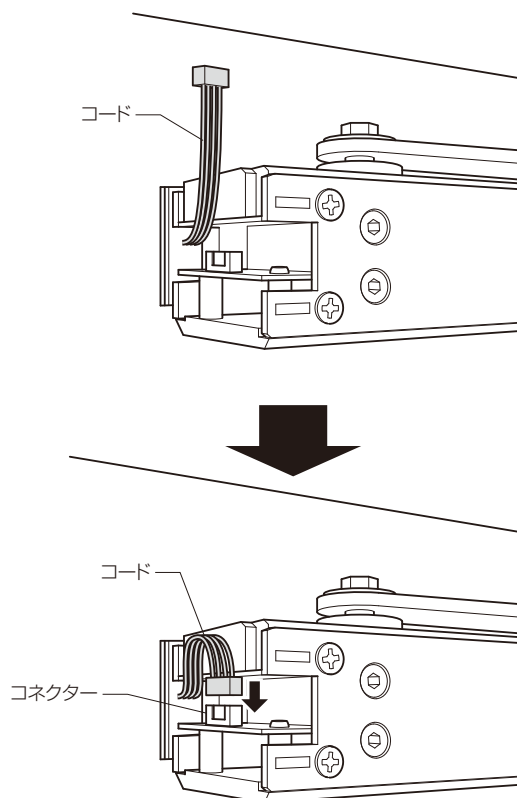


※ 枠に手が当たって作業がしづらい場合は、ドアを開けると作業が容易になります。



- 施工中、配線を取付けない期間がある場合、コネクタへホコリが入らないように養生してください。

- ① ドア本体から出ているコードをコネクタに接続してください。



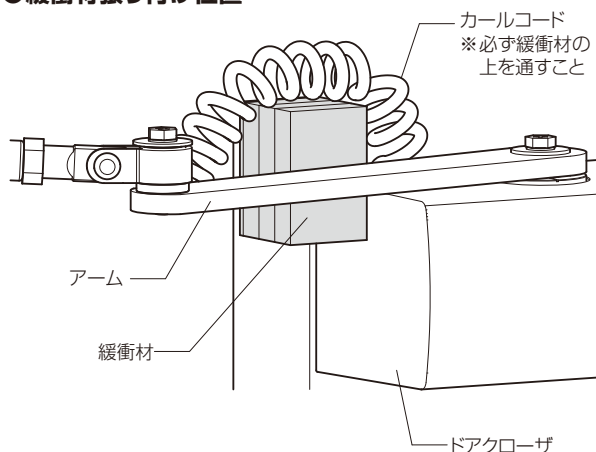
※この項目はサッシ工事区分になります。

■アームの逆折れ防止材(緩衝材)取付け

- ①クローザ本体取付け後、施工中にアームが逆方向に可動しないように緩衝材を取付けます。
- ②緩衝材はドアストッパー取付け後、剥がしてください。

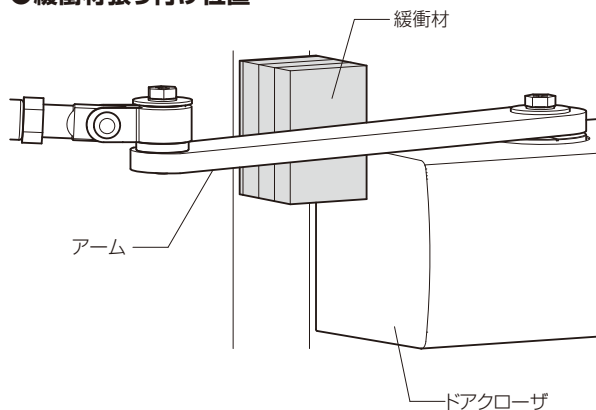
FamiLock配線露出

●緩衝材張り付け位置



FamiLock配線内蔵 顔認証システム

●緩衝材張り付け位置



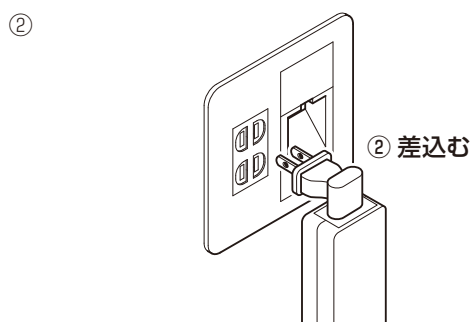
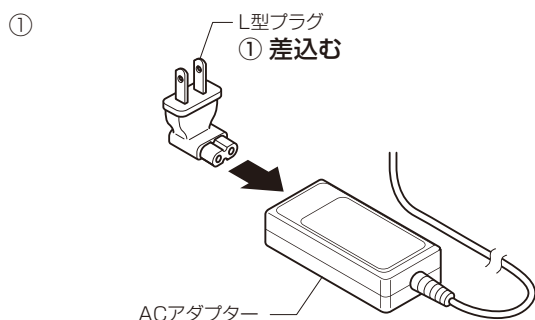
3 配線の取付け(つづき) ※FamiLock配線露出、配線内蔵のみ

■コンセントの接続

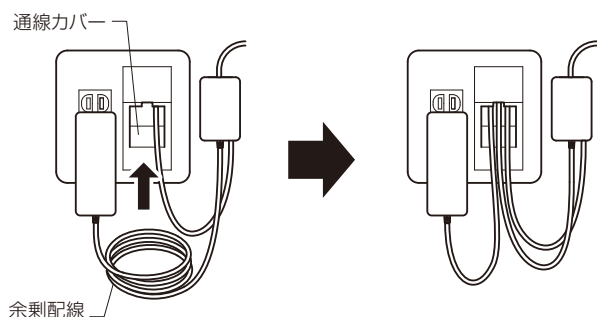
コンセントプラグの差込み上のお願い

●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながる原因になります。

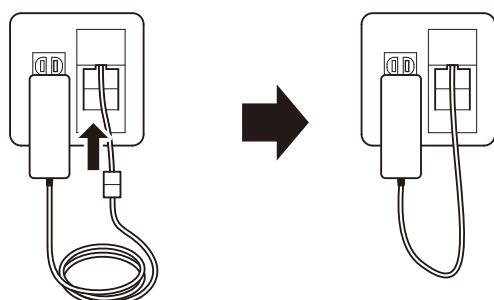
- ①L型プラグをACアダプターの先端に差込みます。
 - ②L型プラグをAC100Vコンセントへ差込みます。
 - ③ACアダプターの余剰配線を通線カバー内に収納します。
- ※FamiLock配線内蔵の場合、引き出した躯体内配線とACアダプタのジャックを接続しカバー内に収納します。



③ 配線露出の場合

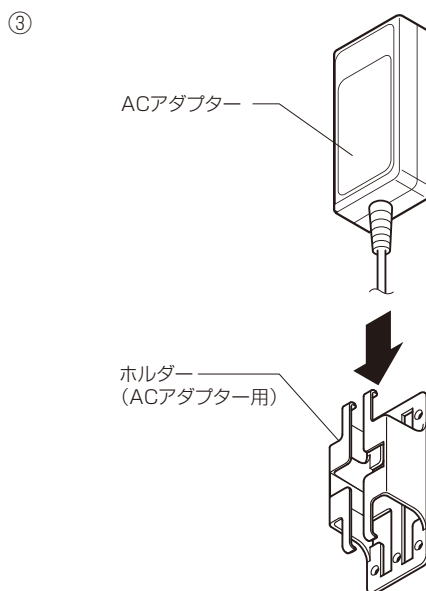
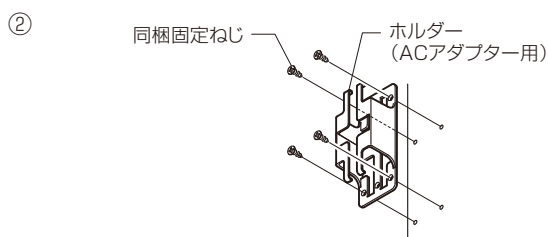
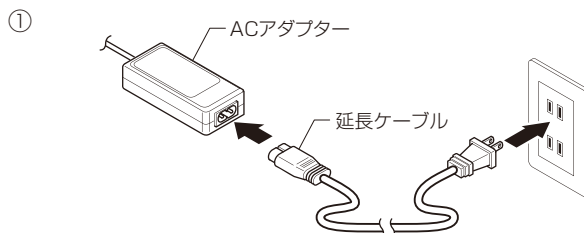


配線内蔵の場合



●コンセントを推奨位置に設置できない場合

- ①付属の延長コードをACアダプターに差込んでください。
 - ②ホルダーを付属の固定ねじを使用して、壁に取付けてください。
 - ③ACアダプターをホルダーに差込み固定してください。
- ※ホルダーを取付ける際、必要に応じて下地を入れてください。



4 作動確認 ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

■ 電源投入

▲ 注 意



●電源を入れる際、安全のため玄関ドアを閉め、施錠をした状態で行ってください。設定が間違っている場合、思わぬ動作でケガをするおそれがあります。

電源投入上のお願い

- 本体の切り替えスイッチが正しく設定されているかを確認してください。
- 配線やコンセントが正しく接続されているか確認してください。
- 本体、アームリンク、ブラケットの取付けねじにゆるみがないか確認してください。
- 作動確認の際に、必ず周囲に人や障害物がないことを確認してください。
- 電源スイッチを入れたとき、ドアが開いてしまう場合は切替スイッチの左右開き設定が間違っています。電源スイッチを切り、切替スイッチの左右開きを再度設定してから電源スイッチを入れてください。

①電源スイッチを「ON」に設定します。

電源スイッチを「ON」にすると、クローザ本体側から「ピッピッ」と音が鳴り、ドアが閉まる方向に動こうとします。

②室内側より扉を軽く押し、電動で開閉するか確認してください。

動かない場合は、配線の接続を再度確認してください。または、アームリンクの長さが適切か確認してください。

※顔認証システムの場合

顔認証システム側を動作確認モードにしないとクローザ側に電源供給がされません。動作確認モードにしてから作動確認を行ってください。

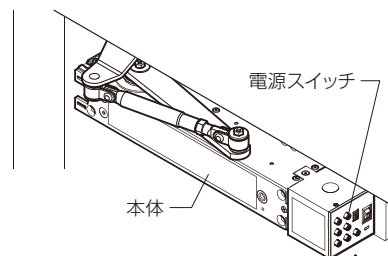
詳細は顔認証システム取付け説明書を参照してください。

③電気錠の作動確認をします。詳細は各電気錠の取付け説明書を参照してください。

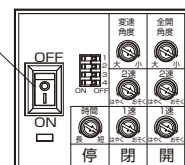
④電気錠とクローザの連動確認をしてください。

電気錠の操作方法是各電気錠取付け説明書を参照してください。連動しない場合、躯体内配線コードや配線ボックス等の配線を確認してください。

①

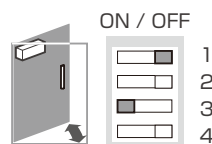


電源スイッチ
① ON

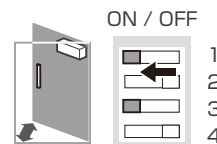


本体スイッチ面

▼ 内観左吊(出荷時)の場合 ▼



▼ 内観右吊の場合 ▼



No	機能	ON	OFF
1	左右勝手	右	左
2	反転感度	高い	低い
3	全閉時押付	あり	なし
4	停止感度	高い	低い

No.3の切替スイッチは動かさないでください。

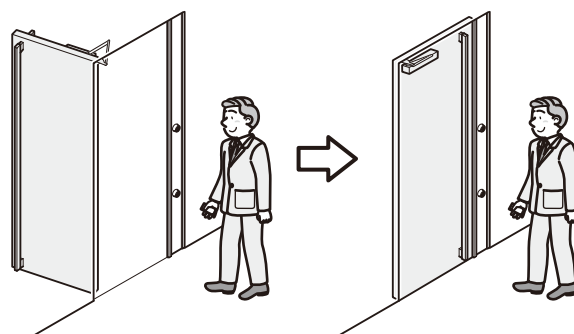
②



②解錠してる状態で
軽く押す

ドアが自動で開く

ドアが自動で閉じる



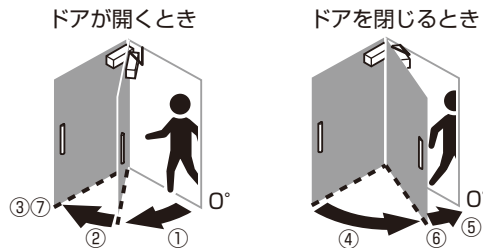
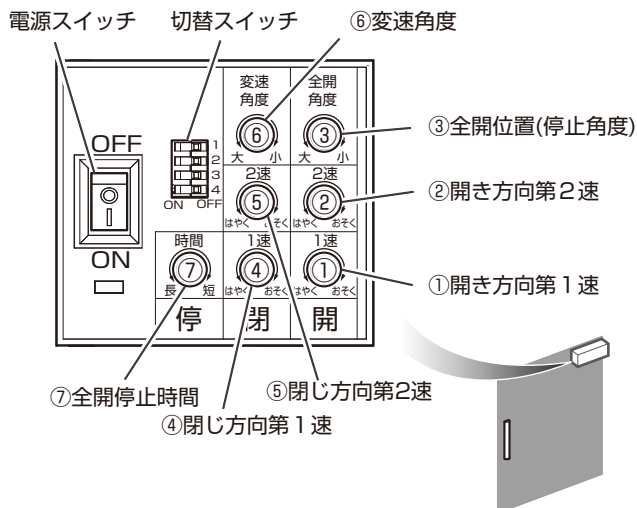
4 作動確認(つづき) ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

■全開位置&開閉速度の調整

調整上のお願ひ

- 使用環境を確認の上、必要に応じて全開位置や開閉速度等の設定を再調整してください。
- 速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。**適正速度は開閉どちらも終わりまで5～8秒位です。**

スイッチの配置と対応する調整区間・初期設定

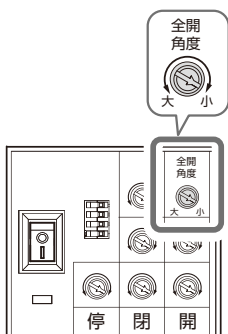
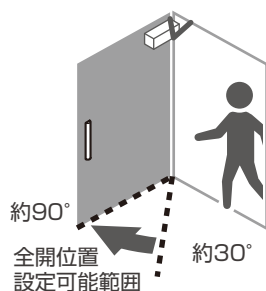


初期設定(出荷時の調整)(※)

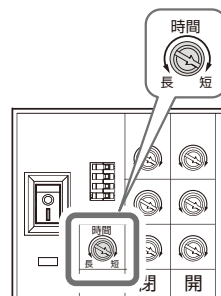
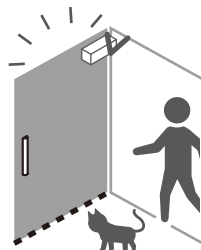
開き速度(①+②)	5～8秒
閉じ速度(④+⑤)	5～8秒
全開位置(停止角度)(③)	50～70°
全開停止時間(⑦)	0秒
変速角度(⑥)	最小

※取付け位置・ドア重量によって、角度・速度の値が変化します。

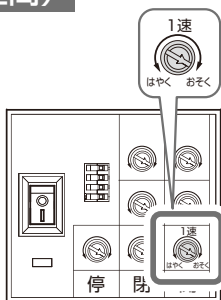
全開位置の調整



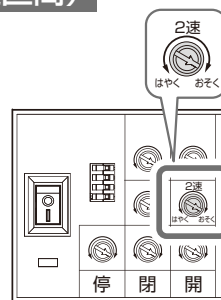
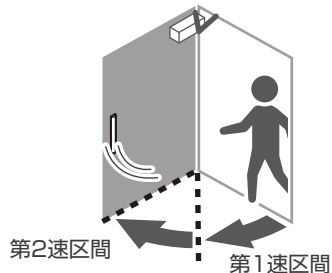
全開停止タイマーの調整



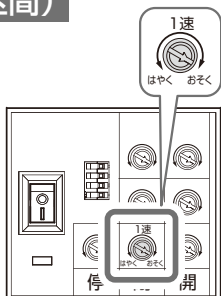
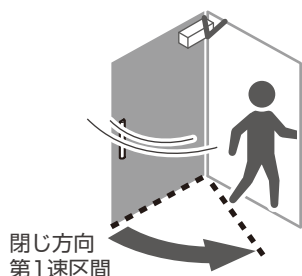
開方向の速度調整(1速区間)



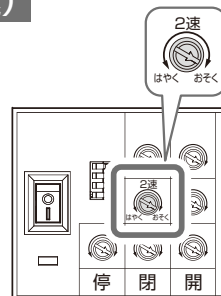
開方向の減速調整(2速区間)



閉方向の速度調整(1速区間)



閉方向の減速調整(2速)



4 作動確認(つづき) ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

■カバーの取付け

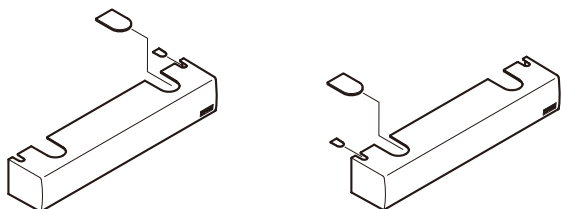
カバー取付け上のお願ひ

- 玄関ドアの吊方向に合わせて、本体カバーのシャフトカバーとゴムキャップを左右で付け替えてください。

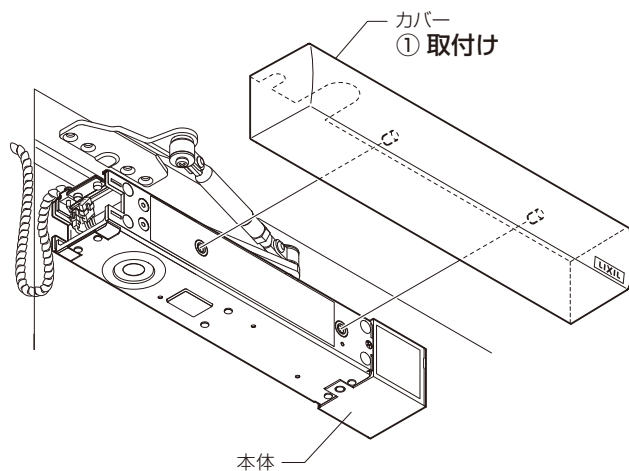
※配線内蔵の場合は左右にゴムキャップを取付けます。

▼内観左吊(出荷時)の場合▼

▼内観右吊の場合▼



- ① 本体側の取付け穴にカバーの突起を圧入して取付けてください。



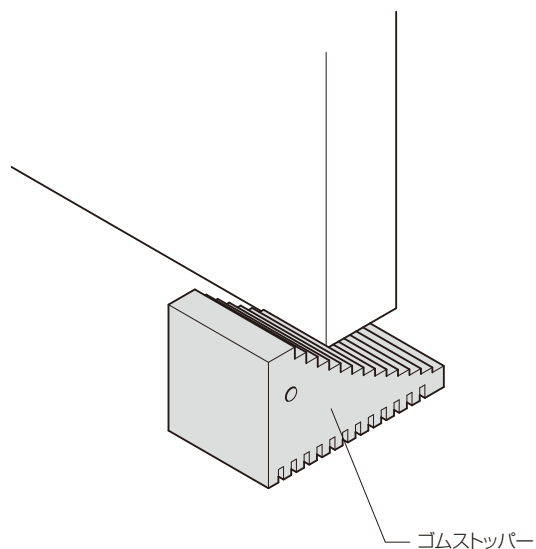
■仮設ドアストッパーの設置

仮設ドアストッパー設置上のお願ひ

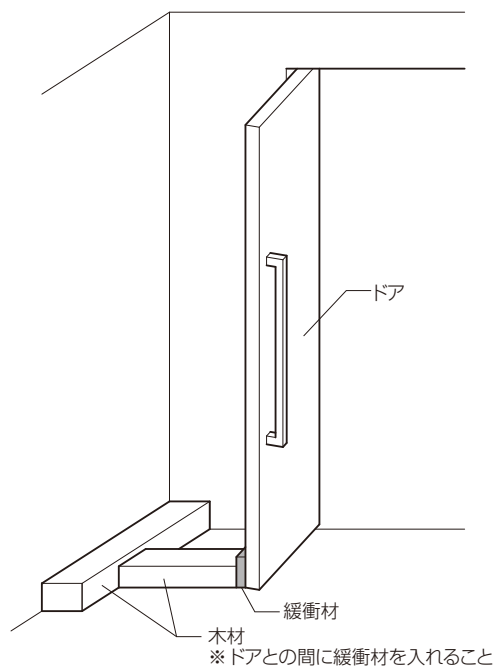
- カバー取付け後、ドアストッパーが取付くまで、玄関ドアが必要以上に開かないように、仮設ドアストッパーの用意をお願いします。
- ストッパー形状はドア本体にキズが付かないように、ゴム素材の物や、木材に緩衝材を被せて設置してください。

※あくまで参考例なので、現場の状況によって形状を決定してください。

例①



例②



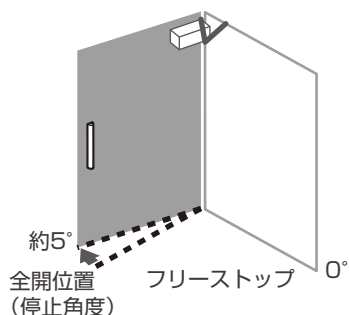
4 作動確認(つづき) ※本図は内観左吊を示します。右吊は左右対称です。

■ドアストッパーの設置

ドアストッパーの設置上のお願ひ

本製品はドアストッパーの取付けをお願いしております。フリーストップにするためには、全開位置(停止角度)より5°程度ドアを開ける必要があります。

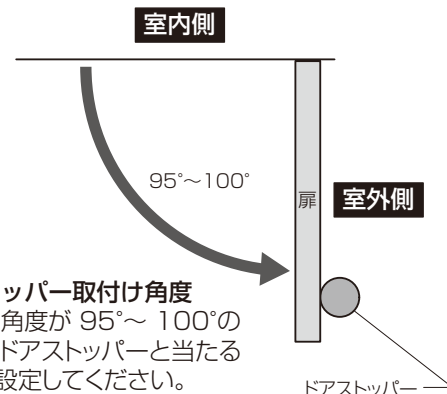
- ドアストッパーは必ず指定の位置に取付けてください。扉の変形、破損の原因となります。
- ドアストッパー扉の破損を完全に防ぐものではありません。強風時や無理な力で開くと扉の変形、破損の原因となります。
- 取付け後、ストッパー干渉時にアームが伸びきってしまう場合は、リンクのロックナットを緩め、少し伸ばしてください→(P.7)
- 取付け後、フリーストップができない場合、全開位置を小さくしフリーストップができる角度へ調整してください。



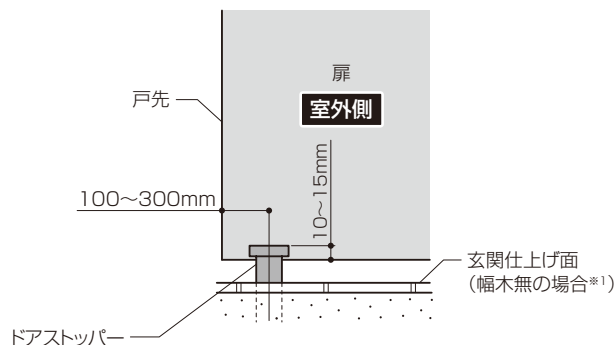
- ① ドアストッパーの取付け位置を確認してください。
- ② クローザの全開位置を最大にし、ドアストッパーと5°すき間がある事を確認してください。
- ③ 確認後、指定の位置でドアストッパーを取付けてください。

■ストッパー取付け角度

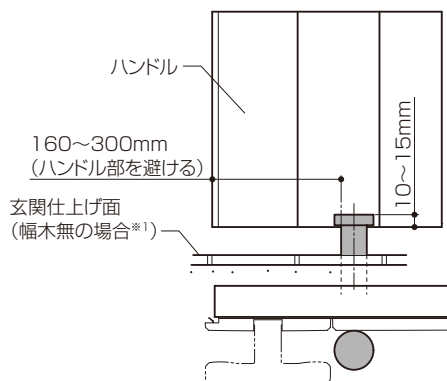
※扉の角度が 95°～100°の間でドアストッパーと当たるよう設定してください。
現場により推奨角度に設置できない場合は 100°以下の範囲で取付け、全開位置調整してください。



板張り調デザイン以外の場合

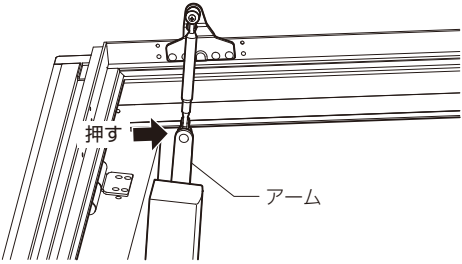


板張り調デザインの場合

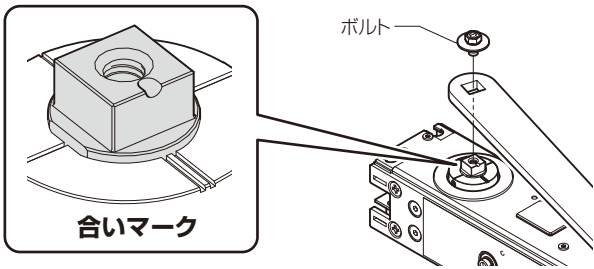


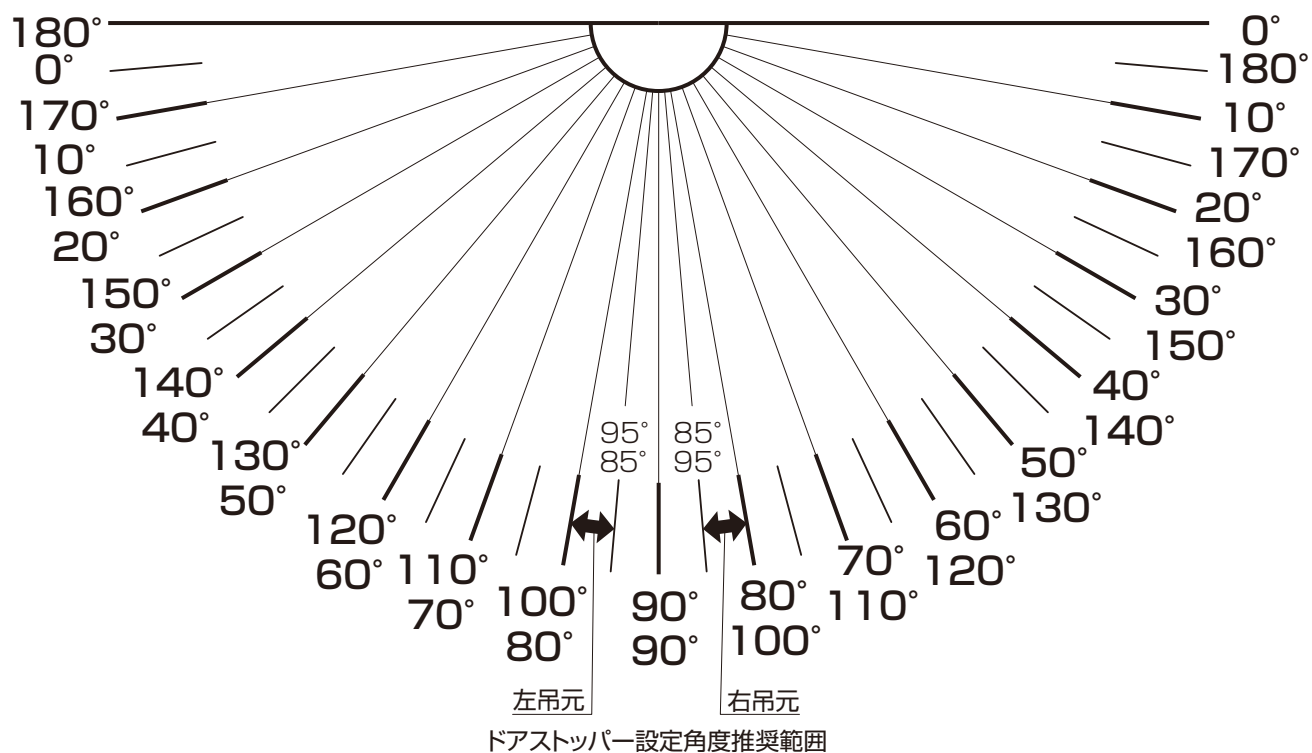
※1 幅木有の場合でも、ドアストッパーの位置は扉の下端から10～15mmとなります。

■こまったときには

こんなとき	考えられる原因	ここを確認してください。
動かない	電源が入っていない	電源スイッチを入れてください。ドアの開閉速度の調整を実施してください。→(P14, P15) コネクターやケーブルに抜けがないか確認してください。通電金具やケーブルは正しい縦枠に接続されているか確認してください。
	アームが伸びきっており閉まらない(逆折れしている。)	アームが伸びている場合は、指などを挟まないように物などを使い、アームを図のように押してください。 
	顔認証システムで動作確認モードになっていない	顔認証システムの場合、動作確認モードでないと電源が供給されません。動作確認モードの操作方法は顔認証システム取付け説明書を参照ください。
解錠と連動し動かない (オートアシストでは開く)	強風時や、換気扇等が作動中により気圧差が生じ、扉が重たくて開かない	手動にて扉を開けてください。オートアシスト機能が作動します。停止感度がONの場合は停止しやすくなります。
	枠や異物との干渉がある	戸先下枠側などすき間がある事を確認してください。干渉やチリが少ない場合は扉の建付け調整を実施してください。また異物がないか確認してください。
電源スイッチをONにするとドアが勝手に開く	切替スイッチ(左右開き)の設定が誤っている	左右開きのスイッチを正しく設定し直してください。→(P14)
取付けができない	本体の向き(左右開き)が誤っている	本体の取付け向きを確認し、正しく取付けてください。→(P5)
調整ができない		各調整方法を確認してください。→(P15)
開閉中にドアが停止する	障害物がある	障害物を取り除き、ドアがスムーズに開閉するか確認してください。
	誤った全閉位置が設定されている	電源を一度OFFにし、電源スイッチを再度ONにしてください。その際、扉を手動で閉めてから行ってください。→(P14)
	ドアストッパーに当たっている	全開位置を小さくしてください。→(P15)
フリーストップができない	フリーストップの際にドアストッパーに当たっている	全開位置を小さくしてください。→(P15)
手動で停止がしづらい	切替スイッチ(停止感度)がOFFになっている	停止感度スイッチをONにしてください。→(P7)
手動反転がしづらい	切替スイッチ(反転感度)がOFFになっている	反転感度スイッチをONにしてください。→(P7)

■こまったときには(つづき)

こんなとき	考えられる原因	ここを確認してください。
電源ONした時、 閉まる方向に動くが、 その後動かない	アームと本体の締結部を一度外した際、間違えて取付けている	アームと本体回転軸の位置を合わせてください。 ボルトを外し、アームの方向と軸のマークを合わせて締結してください。 
	アームリンクの長さが適切でなく、エラー停止している	電源を一度OFFにし、アームリンクの長さを調整し再度電源をONにしてください。→(P7)
ドアが閉まりきらない	切替スイッチ(全閉時押付)がOFFになっている	全閉時押付スイッチをONにしてください。→(P7)
	障害物がある	障害物を取り除き、ドアがスムーズに開閉するか確認してください。
	ドアに抵抗がある	枠との擦れ、パッキン当たりが強い可能性があります、扉の建付け調整を実施してください
「ピー」あるいは「ピーピー」という長音がする	ドアが開閉途中で停止したままになっている	必要時はドアを閉めてください。もしくはドアを開けっ放しの状態にしてください。
開扉時に「ピッピッ」という短音がする	開扉時の勢いでフリーストップになっている	開き方向第1、2速区間を「遅め」に調整してください。→(P15)
停電時		手動でドアを開閉してください。 停電復旧後、自動的に復旧します。
その他、異常動作		電源を一度OFFにし、電源スイッチを再度ONにしてください。 その際、扉を手動で閉めてから行ってください。→(P14)
開閉途中で一度停止し動く	1速と2速の緩急が大きい	1速と2速の速度差を小さくしてください。また1速の速度を遅くしてください。→(P15)
	風が強く、煽られブレーキをかけている	風が吹き込みやすい場所に設置する場合は速度を遅く設定してください。→(P15)



■商品仕様

■電動ドアオープナー

入力電源仕様	AC100V (50/60Hz)
駆動電圧/電流	DC12.4V 1.5A
最大使用電力	15W
勝手方向	左右勝手兼用
使用環境温度範囲	－10～ 50℃